

2019年度

事業報告

社会福祉法人 森の会

I 法人本部事業報告

[1] 理事会・評議員会の開催状況

(1) 理事会 5回開催

理事及び監事候補の推薦、理事長の互選、業務執行理事の選定、通常の決算、予算、事業計画、事業報告、理事長・業務執行理事の業務執行状況の報告、各種規程・規則の改正、慶弔見舞金規程の制定、施設長人事、評議員・役員の報酬等及び費用弁償に関する規程の改正、評議員会の開催決議、市民福祉講座の開催、森の会便りの発行などについて討議、決定を図っている。

(2) 評議員会 2回開催

理事及び監事候補の推薦、通常の決算、予算、事業計画、事業報告、施設長人事、理事長・業務執行理事の業務執行状況の報告、生活支援センターオリーブ居宅介護事業運営規程と管理規程についての制定等について討議し、決議した。

[2] 法人の運営状況

1. 障害者総合支援法に沿った運営

(1) 権利擁護

森の会として、各事業所の日常の活動や相談支援事業の中で、利用者の人権を尊重し、本人の意思決定を中心として、それに基づいてサービス等利用計画や個別支援計画を作成し、支援を実践した。

障害者虐待防止法の主旨を踏まえ、職員全員が日々の支援の場面において、自分の言動や支援を振り返り、支援の質の向上に努めた。

(2) 中・長期計画及び市による指導監査

- ① 中・長期計画をもとに、「利用者の地域福祉資源の開発・提供を進め、地域生活を支援する」を目標とし、具体化に向けて継続的に検討している。
- ② 地元オーナー施工による、グループホームが平成30年10月1日に開設、1年が経過した。人財の入・退職があり、シフト上、順調な運営を確保するため、日々努力を継続している。今後とも、人財の確保を進め、保護者の協力を得ながら運営に取り組んでいる。
- ③ 移動支援、居宅介護、日中一時事業について、特定非営利活動法人ログハウスから正式な移譲を受け、令和元年6月1日から新規事業として実施している。なお、法令に基づき、社会福祉法人としてできる範囲について、精査を加え、利用者及び保護者の理解を得ながら事業展開を図っている。なお、登録ヘルパーの確保が喫緊の課題として挙げられる。
- ④ 利用者の人権を擁護し、安全の確保や防災対策の充実、さらにヒヤリハットの把握で虐待や事故を未然に防止する努力をしている。特に、物損事故等の交通安全に心がけ、保険会社による研修

の開催、朝礼時の交通安全スローガンの唱和など、交通安全意識の啓発に努めている。

⑤ 令和元年度は、東久留米市による指導監査等はなかった。

(3) 情報公開および広報活動

- ① 法人ホームページの内容を適宜更新している。
- ② 各事業内容と会計決算報告の公開。財務諸表の作成。
- ③ 各事業所からのお便りの発行、森の会便りの創刊、「市民福祉講座」の開催。

(4) 東京都福祉サービス第三者評価の受審について

- ① 今年度は、バオバブ、プラタナスについては、東京都福祉サービス第三者評価の受審はなかった。
来年度は、グループホームの第三者評価の受審を予定している。
- ② 東久留米市福祉オンブズの会との連携を深め、福祉情報の意見交換を進めている。
- ③ 第三者苦情虐待対応委員への口頭報告を行なった。

(5) 職員育成と研修

法人の理念、目標を基本とし、職員合同研修会を実施し、森の会の利用者支援を担う職員育成に努めた。また、各事業所において内部研修・実践報告を実施した。

(6) 行政との連携

利用者が地域で生活できる環境を整えるべく、東久留米市役所と意見交換を重ね、理解と協力をお願いした。特に、東久留米市とは支援困難ケースの解決に向けて、複数回の会議を持ち、解決の道筋を探った。あわせて、東久留米市社会福祉協議会の呼びかけによる市内社会福祉法人との連絡会議に出席し、地域での森の会への理解を深めてもらい、活動の幅を広げていけるよう努めた。

(7) 地域との連携 市民福祉講座を開催

令和2年2月22日(土)、東久留米市生涯学習センターまろにえホールで森の会主催による「市民福祉講座」を市民対象に企画、開催した。元厚生労働省事務次官の村木厚子氏を外部講師として「少子高齢社会における地域づくり～共生社会の実現のために～」をテーマに、講演いただいた。社会において、障害のある方、高齢の方、子ども等、福祉におけるこれから社会課題を市民と共有する絶好の機会となった。

2. 内部監査

当年度の運営状況監査について、法人監事による監査が行なわれた。

法人監事による監査	令和元年4月1日より令和2年年3月31日迄の事業年度に關し、理事・業務執行理事の業務執行状況及び社会福祉法人森の会の財産状況について監査を実施。	令和2年5月
-----------	--	--------